

令和6年度(2024年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	小城市立晴田小学校	児童数	302人
-----	-----------	-----	------

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	本の楽しさを伝えよう
	取組期間	令和6年(2024年)5月7日～令和6年(2024年)11月30日

※令和6年(2024年)4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和6年(2024年)11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	302人	実施日数	208日	読書冊数	31474冊	連携した団体数	3団体
	取組内容(概要)	<p>昨年度、学年に応じた読書量を確保することを目標に、貸し出し冊数を100冊と定めて取り組んだが、目標に達しなかった学年があった。そこで今年度は全学年80冊借りることを目標とするとともに、各学年で、図書室から本を借りてきて教室や廊下に置いておき、児童がいつでも本を取れるようにし、読書量を確保するとともに読書の質の向上に努めた。また、いろいろな本に接する機会を増やそうと、図書委員会を中心に様々な活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">○読書の木の掲示…貸出冊数が100冊・200冊・300冊に達した児童の名前をみかんの模ったカードに記し、掲示を行うことで読書意欲の向上を図った。〔資料1〕○貸出冊数に応じたプラス券の配布…貸出冊数10冊毎に1冊貸出券を配布する。さらに、100冊毎に、プラス券綴りを配布し、読書意欲の向上を図った。○学年の本棚にある本を読もう!…教師が読んでほしい本や、学習に使う本を教室や廊下に持ってきておいて、児童がいつでも本を手にとれるようにした。〔資料2〕○図書館まつり(年2回各1週間)…図書委員会主催で、しおりコンクール、読書ビンゴ、図書館くじ、図書委員体験、読み聞かせなどに取り組んだ。〔資料3〕○図書委員や6年生のおすすめの本の紹介文を掲示し、いろいろな種類の本に目が向くようにした。〔資料4〕○読み聞かせ(年7回朝の時間)を行う…地域ボランティアと育友会、幼稚園園長、職員による読み聞かせを行った。〔資料5〕○小城市民図書館による読み聞かせ会の開催や、毎月の移動図書館本丸くんを活用10月4日に小学1年生を対象に、絵本の読み聞かせ会を開催した。〔資料6〕						
工夫したこと	<ul style="list-style-type: none">○図書館まつり <p>図書館まつりに、たくさんの児童に来館してもらうために、図書委員がいろいろなイベントを企画して運営した。図書委員会による全校児童や1年生を対象としたおすすめの本の読み聞かせをする新企画を立ち上げた。また、図書館祭りの期間中に2回本を借りた児童がひける図書館くじ、給食時間に図書館や本に関するクイズを放送したり、図書委員体験会を開催したり、図書に関するしおりコンクールを行っ</p>							

	<p>て優秀作品を掲示したりするなどして、来館者数を増やそうと試みた。さらに、全種類の分類番号の本を読むことを目標にした読書ビンゴを企画し、様々なジャンルの図書に興味を持てるようにするなど、多彩な催しを行った。図書委員会の児童や担任の呼び掛けで、多数の児童が参加することができ、より多くの本と接する機会となった。</p> <p>○読み聞かせ 高学年の児童も、集中して聞き、お話の世界に浸っている姿が見られた。読んでいただいた本を図書室で借りて読む児童の姿も見られた。</p> <p>○読書タイムの設定 朝の5分間を読書タイムとして設定している。児童は自分で選んだ本を静かに読んでいる。学力向上の一環として、読書をすることによって文字に慣れ、読む力を向上させるねらいももたせている。</p> <p>○小城市民図書館からの移動図書館本丸くん 移動図書館本丸くんは、月に1度本校に来て児童への本の貸出をしてもらっている。5月には、1年生に向けてオリエンテーションを行い、本の魅力を伝えていただいた。</p> <p>○小城市民図書館による読み聞かせ会の開催 10月4日に小学1年生の児童を対象に、絵本の読み聞かせを行い、本の世界を楽しんだ。大型絵本をくいいるように見つめ、顔を輝かせてお話に聞き入る姿が見られた。本の読み聞かせだけでなく、おすすめの本を紹介していただいたことで、本への関心を高めることにつながった。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>1年間で80冊読むことを目標としたため、目標数を明確にとらえることができた。11月末時点で貸出冊数が80冊を超えた児童は、全校児童のうち62%であった。</p> <p>図書館祭りでは、図書館に行きたくなるような多様なイベントを図書委員が企画し、実施することができた。図書館まつりの期間中は、連日多くの児童が来館した。また、教室や廊下に本を置いておくことで、空いた時間に本を手にとって読んでいる姿が見られた。児童の全てが、じっくり本の中身と向き合えているとはいえないが、まずは、手に取ることから初め、図書館を身近に感じ、「図書館に行きたい。」「本を読みたい。」と思えるような図書館にしていけるように、図書委員会の児童とともに活動していきたい。</p>
<p>今後の取組予定 (令和6年(2024年)12月 ～令和7年(2025年)3月)</p>	<p>今後も、図書館まつりやおすすめの本コーナーの充実など、児童が図書館に行きたいと思うような工夫をしていきたい。職員のおすすめの本、季節の行事に関する本などを紹介したり、読み聞かせの時間を計画的に行ったりするなど、全校での取り組みを行い、読書に関する関心を高め、本を身近に感じることができるよう、今後も全校で連携して、図書館の活動を充実させていきたい。</p>

〈活動内容〉

〔資料1〕晴田っ子 読書の木

100冊・200冊・300冊の貸出冊数を達成した児童は、みかんを模したカードに名前を書いて、読書の木に掲示した。



読書の木

〔資料2〕学年の本棚

教師が読んでほしい本や、学習に使う本を教室や廊下に持ってきておいて、児童がいつでも本を手にとれるようにした。



〔資料3〕図書館祭り



図書館ビンゴカードに
スタンプをもらう。

図書委員による読み聞かせ

図書館祭りの期間を6月と11月の各1週間設定した。スポーツの本、学年の本、歴史の本などいろいろな種類の本を読むように仕組んだ図書館ビンゴ、全学年を対象とした読み聞かせなど図書委員会の児童が企画したイベントに楽しみながら参加する姿が見られた。

〔資料4〕図書委員や6年生のおすすめの本紹介



6年生から、全校児童への
おすすめの本の紹介

図書館の南入口に掲示した。多くの児童が掲示物の前で立ち止まって読んでいた。

〔資料5〕読み聞かせ



地域のボランティアの方々に来ていただき、今年度は7回読み聞かせ会を行った。毎回、さまざまな分野の本を読んでいただいている。児童は、読み手の方に体を向け、お話に熱心に耳を傾けていた。

〔資料6〕小城市民図書館による読み聞かせ



10月に、1年生の児童を対象に小城市民図書館の読み聞かせ会を行った。

大型絵本の読み聞かせでは、近くに座る児童に笑顔で同意を求めながらお話の世界を楽しんだり、身を乗り出して本に見入ったりしている姿が見られた。また、おすすめの本を紹介していただくことにより、本への興味関心を高める機会となった。

貸出総数 5月7日～11月30日まで（169日）

★全校貸出冊数・・・31,474冊

★一人当たりの貸出冊数・・・104冊

低学年・中学年では図書の時間に、図書室でゆっくり本を読む時間を確保することができ、図書室への来館数が増加した。朝読書、読み聞かせ、図書館まつりなど、本に親しむ機会を作ることにより、図書館に行く楽しさ、読書の素晴らしさを感じている。

各学年における目標達成状況

学年	達成目標（冊）	1人当たりの達成数（冊）	達成率（%）
1年	80	158	198
2年	80	105	131
3年	80	90	113
4年	80	120	150
5年	80	87	109
6年	80	52	65

11月30日現在